

(3) ライフサイクルコストの低減
施設の耐久性の向上(長寿命化)(施策番号)

長寿命型蓄電池を採用し、ライフサイクルコストを低減

水資源開発公団

三重用水管理所 中里貯水池外通信用直流電源設備工事

【施策の概要】

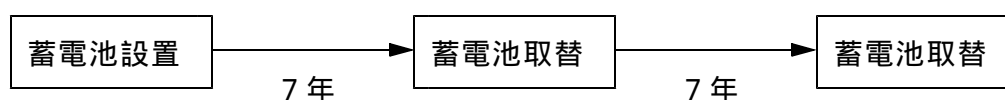
蓄電池の更新については、メンテナンスフリーのMSE型蓄電池に更新することを方針としていましたが、この度、直流電源装置を更新するにあたり、長寿命シール形据置鉛蓄電池(長寿命MSE形蓄電池)を採用し、ライフサイクルコストの低減を図りました。

【施策のポイント】

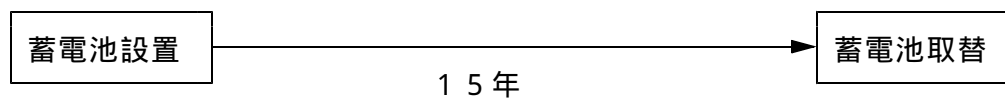
- ・従来のMSE型蓄電池は耐用年数が約7年間であり、短期間での取替が必要となっていました。長寿命MSE型蓄電池を採用することにより耐用年数が約15年間となります。
- ・長寿命MSE型蓄電池は、従来のMSE型蓄電池の特徴(メンテナンスフリー、均等充電不要)を継承し、かつ互換性(充電電圧、大きさ等)があるため、充電器や蓄電池収納盤を改造することなく、蓄電池のみの取替で対応できます。
- ・長寿命MSE型蓄電池の価格は、MSE型蓄電池の約1.3倍となっていますが、寿命が約2倍となるため取替回数が減少します。
- ・以上により、長寿命MSE型蓄電池を採用することで、約25%のライフサイクルコストの低減が可能となります。

【施策の実施状況・イメージ図】

従来：MSE型蓄電池



今回：長寿命MSE型蓄電池



- ・上記に加え、水資源開発公団三重用水管理所 菰野調整池制御・始動用直流電源設備工事において、長寿命型蓄電池を採用し、ライフサイクルコストの低減を図りました。